

2019年7月8日

報道各位

ラサール不動産投資顧問株式会社

沖縄県のホテル「ロワジール リビングスイーツ 瀬良垣」を取得

世界有数の不動産投資顧問会社であるラサール インベストメント マネージメント インク（本社：米国イリノイ州シカゴ、最高経営責任者：ジェフ・ジェイコブソン、以下ラサール）は、同社が組成した万座瀬良垣プロパティ合同会社を通じ、沖縄県国頭郡恩納村所在のホテル、「ロワジール リビングスイーツ 瀬良垣」の信託受益権を7月1日に取得したことをお知らせいたします。本ホテルは、ソーレ ホテルズ アンド リゾーツ株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：井上理、以下ソーレホテルズ）が運営を行います^{*1}。



本物件は、沖縄県国頭郡恩納村に立地し、近隣は万座毛、ナビビーチ、万座ビーチといった豊かな自然と観光資源に恵まれています。全105室の客室は約45～94㎡の広さとなっており、全室にキッチン・ランドリーを備えたコンドミニアムスタイルとなっています。また敷地内には地上2階建てのプール棟も併設しています。顧客ターゲットは、20～30代の家族連れや35歳以下のグループを中心に、幅広い層を想定しています。

ソーレホテルズは「ロワジールホテル」、「ザ・スクエアホテル」、「ホテル・アンドルームス」等のブランドを有し、全国レベルでオペレーションを行っている実績に加えて、インバウンド旅行者に対して訴求力のある商品を提供しています。本ホテルは、ソーレホテルズが沖縄県内で運営する3軒目のホテルとなります。なお、本ホテルは7月10日に開業予定です。

ラサールの日本法人である、ラサール不動産投資顧問株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：キース藤井）の執行役員 ヘッド オブ アクイジション ジャパン奥村邦彦は「国内屈指の豊かな観光資源を持つ沖縄県の入域観光客数は、台風や麻疹の影響を受けたにもかかわらず、2018年に984万人に達し6年連続で過去最高値を更新しました。2020年には那覇空港第2滑走路の供用開始が予定されており、インバウンド旅行者を中心に国内外から更なる観光客が沖縄へ訪れることが予想されています。本ホテルは平均57㎡を誇る客室面積に加え、全ての客室内にキッチンとランドリーを備えており、ゆったりと長期滞在を楽しむことができる施設となっています」と述べています。

^{*1} ホテルを信託財産とする信託受益権を万座瀬良垣プロパティ合同会社が所有し、ラサールが組成した万座瀬良垣オペレーション合同会社がマスターレシーパーとなり、ソーレホテルズへ運営を委託します。

【施設概要】

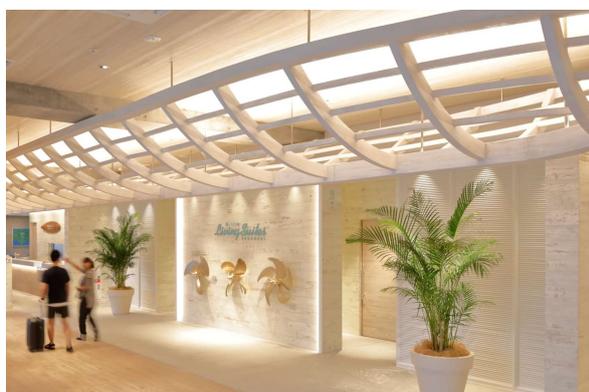
物件名	ロワジール リビングスイーツ 瀬良垣
運営会社	ソラーレ ホテルズ アンド リゾーツ株式会社
所在地	沖縄県国頭郡恩納村字瀬良垣ギナン原 1860 番 4 他
交通	那覇空港から車で約 60 分(高速道路利用)
敷地面積	5,408.30 m ²
延床面積	客室棟:7,399.15 m ² プール棟:233.39 m ²
構造	客室棟:RC 造・地上 7 階建 プール棟:RC 造・地上 2 階建
竣工	2019 年 5 月
取得日	2019 年 7 月 1 日
開業予定日	2019 年 7 月 10 日

【施設写真】

アウトドアプール



エントランスロビー



客室



ラサール インベストメント マネージメントについて

ラサール インベストメント マネージメントは、世界有数の不動産投資顧問会社です。世界規模で、私募、公募の不動産投資活動、負債性投資をしており、総運用資産残高は約 643 億米ドルです(2018 年 12 月末現在)。主要顧客は、世界の公的年金基金、企業年金基金、保険会社、政府関連、企業、その他基金(大学基金他)などで、世界中の機関や個人投資家の資金管理を行い、セパレートアカウント型投資、オープンエンド型ファンド、クローズドエンド型ファンド、公募証券、エンティティレベル投資等の手法で投資を行っています。また、世界最大級の総合不動産サービス企業であるジョーンズラングラサールグループ(ニューヨーク証券取引所上場:JLL)傘下にあります。なお、ラサール不動産投資顧問株式会社は、ラサール インベストメント マネージメントの日本法人です。詳しい情報は、<http://www.lasalle.com> をご覧ください。

本件に関するお問い合わせ先

広報担当(エイレックス) 村瀬亜以 電話 03-3560-1289 メール lasalle@arex-corp.com